

2019-20年度福岡北RC会長方針

テーマ『つなぐ～樹を育てる人を育てよう』

1 2019-20年度RI会長テーマ

マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長は「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマを掲げました。ロータリーの奉仕を通じて、有能で 思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。

2 2019-2020年度2700地区ガバナーのテーマ

灘谷和徳2019-2020年度地区ガバナーは「不易流行～永続と変革～」を地区メッセージとして公表されました。「不易」とは永続し変わらないもので、「中核的価値観」（奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ）であり、「流行」とは：時代とともに変わるもので、「重点目標」「優先事項」「年次目標」であると整理されています。

3 RIが定める優先事項

- 1) より大きなインパクトをもたらす
- 2) 参加者の基盤を広げる
- 3) 参加者の積極的なかわりを促す
- 4) 適応力を高める

4 2019-20年度の年次目標

- 1) 人々をつなぐ
- 2) 行動する
- 3) ロータリー賞

5 灘谷ガバナー年度の取り組みとお願い

- 1) 日本のロータリー誕生100周年に向けて

2020.10.20 日本でRC創立100年、RCの歴史と理念の再確認

- 2) 第7回日台ロータリー親善会議 福岡大会の開催

2020.3.6 日本と台湾の友好・姉妹クラブから1000名以上参加（ホテルニューオータニ博多）

- 3) 長期計画委員会の設置・・・地区では富田年度に設置、各クラブにも設置
- 4) 地区大会分担金増額・・・負担金 10000 円／人、登録制度は廃止
- 5) マイロータリーへの登録推進・・・ロータリー情報は R I ホームページより提供、登録の推進

さて、現在の当クラブの最大の目標はクラブを健全に維持していくためにも会員増強が最重要課題です。また、消費税増税をはじめ物価の上昇による財政の問題、会員の高齢化や出席免除会員の増加による委員会編成の問題、ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付の問題など多くの課題に取り組んでいかなければなりません。多くの課題にどのように対処すべきかを、新設する「中長期計画委員会」により、これからの北クラブの運営や方向性について検討を始めていきます。会員の維持においては、クラブ会員間の親睦を深め、会員相互の理解と友情を大事にする当クラブの伝統をつなぐことです。また、会員増強にあたり良質な会員の勧誘に加え、将来は磨けば光ると思われる「若者」の勧誘をお願いいたします。ロータリークラブは社会に役立つ人を育てることができる上質な社交クラブです。優良な会員諸氏と接すれば心も磨かれ玉となりうる良質な職業人を輩出できることでしょう。楽しくて魅力のある（心のよりどころとなる）クラブであり続けるためにも、「仲間をもっと知ろう」そのために会員卓話を重視していきます。ほとんどの会員は職域の違う方々が多く、その方々の職域の知識のこと、誇れること、自慢話も良いでしょう。人を知り己を知ることにもつながります。クラブ協議会においては、中長期計画をテーマにクラブの未来について伝えていきます。多様な意見を頂きクラブ運営に反映させ、新しい第一歩を踏み出せる準備をしていけたらと思っています。

今年度の R I テーマ、地区方針を踏まえて、今年度のクラブの具体的な方針は

出席委員会

例会への出席は義務ではなく権利、「入りて学び、出でて実践する」、出席率の向上、

親睦委員会

会員相互の親睦と友情を深める活動

プログラム委員会

仲間を良く知るためにも、会員卓話の重視

ロータリーソング委員会

全員で同じ歌を唄うことの意義、心を一つに

出席委員会との兼務

クラブ会報・広報委員会

クラブの歴史を刻む大事な役割、明瞭簡潔に例会内容や伝達事項の会員への周知

会員選考・職業分類委員会

会員選考にあたり会員候補者の資質や適性の判別、ロータリー運動についての説明

新しい会員分類について検討

会員増強委員会

会員増強はクラブ運営及び将来の展望にとって最重要課題

委員会が中心となり、全会員一丸となり年度末会員数72名以上を目標

ロータリー情報・雑誌委員会

ロータリーの友、ガバナー月信に重要事項があれば会員に周知徹底

ロータリー運動についてのオリエンテーションの開催

2019年手続要覧変更内容等の会員への周知

職業奉仕委員会

ロータリー運動の骨幹となる委員会、「四つのテスト」についての理解を深める活動

社会奉仕委員会

財団地区補助金申請中の子供たちが主役となる市民ミュージカル「那珂川浪漫」公演の支援

青少年奉仕委員会

ボーイスカウト福岡第14団活動、市民ミュージカル公演など次世代を担う青少年の育成への支援

R Y L A 委員会

多くの有望な若者を R Y L A セミナーへの参加促進

ロータリー財団委員会

財団寄付の意義と用途について会員への理解と一人当たり財団寄付平均額100ドルの達成

米山奨学生委員会

米山記念奨学会活動への理解（寄付）とクラブが受け入れている奨学生への支援と親睦

姉妹クラブ

2020年3月6日に日台ロータリー親善会議がホテルニューオータニ博多で開催

姉妹クラブの中興RCからの参加奨励

1年間 よろしく申し上げます。

2019-20年度会長 森 陽一